# 岡山県生涯学習センター全景



人と科学の未来館マスコット 「サイピィ」

# Contents

1	運営の基本方針	1
2	概  要	
1	組 織	1
2	沿 革	2
3	建 設 概 要 ·····	3
4	施 設 概 要 ·····	3
5	施設配置図	5
3	平成30年度事業体系	6
4	平成30年度主な事業計画	
1	人材育成 ······	7
2	市町村・公民館支援	8
3	調査研究、学習情報の発信	8
4	「学び・交流の場」としての機能充実	9
5	科学教育の推進	9
5	平成29年度事業実績	
٠,		
	人材育成	10
1 2	人材育成 ····································	
1 2 3	調査研究と市町村・公民館支援	12
2		12 13
2	調査研究と市町村・公民館支援 ······ 学習情報の積極的な発信 ······	12 13 13
2 3 4	調査研究と市町村・公民館支援 学習情報の積極的な発信	12 13 13 14
2 3 4 5	調査研究と市町村・公民館支援 学習情報の積極的な発信 「学び・交流の場」としての機能充実 科学教育の推進 科学教育の推進	12 13 13 14 15
2 3 4 5 6	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 15
2 3 4 5 6 7	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 15
2 3 4 5 6 7 8	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 15 16 16
2 3 4 5 6 7 8	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 15 16 16
2 3 4 5 6 7 8 9	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 15 16 16
2 3 4 5 6 7 8 9 10	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 16 16 16
2 3 4 5 6 7 8 9 10	調査研究と市町村・公民館支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12 13 13 14 15 16 16 16 16

# 1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「第2次岡山県教育振興基本計画」等を踏まえ、市町村や関係機関などとの連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の育成、調査研究、情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間(ぱる)として、楽しく学習や交流ができるゾーン(「三学ぱる岡山」)づくりを進める。

#### 平成30年度取組の重点

### ① 地域の課題解決の中核となる人材を育成し、ネットワークづくりを進める。

- ◇地域課題に対する講座の企画・立案から実践までできる人材の養成
- ◇地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを行う統括・中核コーディネーターの養成
- ◇社会教育関係団体等との連携・協働の推進

#### ② まちづくりの拠点となる公民館活動を支援する。

- ◇多様な主体と連携した公民館活動活性化の取組
- ◇ESDの観点に立った公民館活動の普及と館長等公民館職員の資質能力の向上
- ◇地域の課題解決や諸事業のコンサルティングによる市町村支援

#### ③ 若者の社会参画を推進する。

- ◇若者が主体的に地域づくりに取り組める力の育成とつながりづくりの支援
- ◇地域の中で若者支援に関わっていく人材の養成
- ◇若者のニーズを反映した講座を大学生が企画し、積極的に社会参画をしようとする人材の養成

#### ④ 県民の学習を支援するための生涯学習情報の充実を図る。

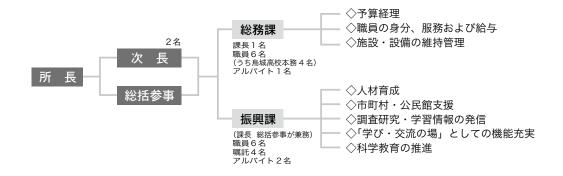
- ◇生涯学習情報提供システムの効果的な活用及び情報提供
- ◇学習成果の発表機会・実践の場の提供
- ◇県立文化・社会教育施設をキャンパスとした新たな学びの創出

#### ⑤ 科学教育を推進する。

- ◇人と科学の未来館サイピアの運営支援(指定管理者事業実施)
- ◇JAXAとの連携

# 2 概 要

### 組 織



平成2年1月 中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。

この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、 都道府県が設置することが適当である旨を答申した。

平成3年4月 第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。

平成4年3月 岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具 申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。

平成5年3月 岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター(仮称)と単位制に改編する県立烏城高等学校を 一体的に整備する「生涯学習推進センター(仮称)整備基本構想」策定

平成6年3月 「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定

12月 「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター(仮称)基本設計」完了

平成7年3月 「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター(仮称)実施設計」完了

11月 建設工事着工

平成8年12月 岡山県生涯学習センター竣工

12月 12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定

平成9年1月 同条例施行、機関設置

2月 岡山県生涯学習センターオープン記念式

2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」稼働

5月 岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設

平成10年2月 「県立烏城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足

10月 岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始

平成12年6月 岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管

平成12年度 文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」 実施

11月 岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立

平成13年3月 国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備

平成14年2月 岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施

3月 岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」を更新

4月 「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合

6月 岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施

7月 岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置

平成17年4月 生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル

平成18年3月 岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散

11月「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催

平成19年2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」を更新

4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入

11月 「まなびピア岡山2007in三学ぱる岡山」を開催

平成20年11月 池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第 1回京山祭」を開催

11月 「おかやま学びフェスタ2008」を開催

平成21年4月 情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。

平成23年3月 県立児童会館閉館

平成23年9月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟(仮称)整備基本計画」策定

平成24年4月 「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置

平成24年5月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟(仮称)専門委員会」設置 (のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更)

平成24年6月 岡山県生涯学習センター未来科学棟(仮称)建設工事着手

平成24年10月 新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定

平成25年3月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工

平成25年4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等の一部の業務に、人と科学の未来館サイピア 及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館

平成26年4月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成

平成27年2月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成

平成27年7月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者25万人達成

平成28年度 岡山県生涯学習センター開所20周年記念事業を実施(11月・2月)

平成29年8月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者50万人達成

平成30年2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」を更新

# 3 建設概要

敷地面積 45,010㎡ 建築面積 7,566㎡ 延床面積 14,320㎡

構造規模

交 流 棟/鉄筋コンクリート造2階建

学 生 食 堂/鉄筋コンクリート造平屋建

情報・創作棟/鉄筋コンクリート造5階建 喫 茶 棟/鉄骨造平屋建

公 衆 便 所/鉄筋コンクリート造平屋建

講 義 棟/鉄筋コンクリート造5階建 体 育 館/鉄筋コンクリート造2階建

人と科学の未来館サイピア/鉄筋コンクリート造2階建

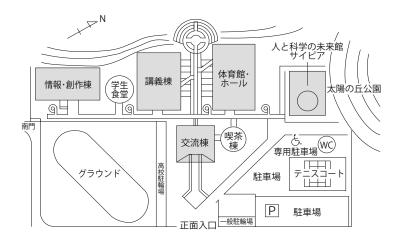
駐 車 場/鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

### 4 施設概要

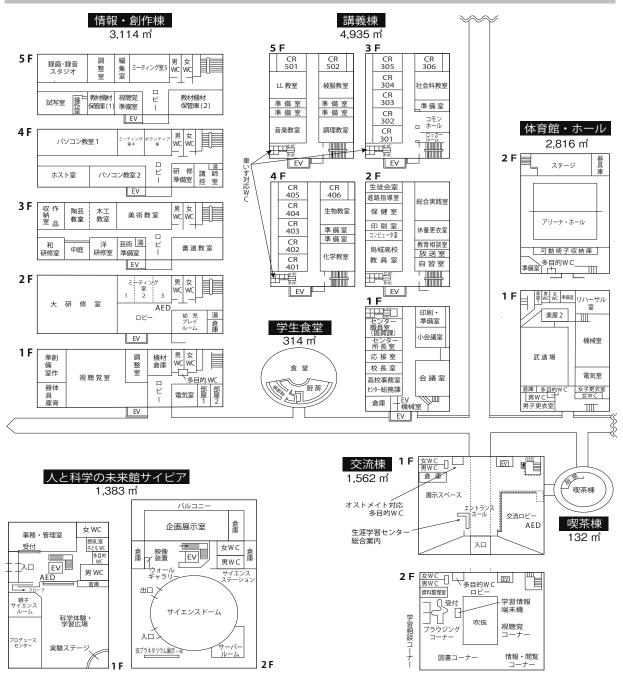
建物	階別	室名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
	1階	視 聴 覚 室	261 m <sup>2</sup>	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器
		大 研 修 室	261 m²	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、 ホワイトボード、スクリーン
	O 1741	ミーティング室 1	28m²	18人	ホワイトボード
	2階	ミーティング室 2	22m²	12人	ホワイトボード
		ミーティング室3	28m²	18人	ホワイトボード
		幼児プレイルーム	50m²		幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等
和 研 修 室 33㎡ 一 茶道用道具(有)		茶道用道具(有料)			
		洋 研修室	33m²	12人	_
	3階	陶 芸 教 室	39m²	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具
	3階	木 工 教 室	39m²	8人	卓上糸鋸盤等木工具
情 報・		美 術 教 室	80m²	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ
創作棟		書 道 教 室	66m²	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ
	4階	パソコン教室1	116m²	40人	パソコン41台、カラープリンター
		パソコン教室2	66m²	20人	パソコン21台、スキャナ付プリンター
		ボランティア室	40m²	18人	ホワイトボード、スクリーン
	419	ミーティング室 4	40m²	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ホ ス ト 室	66m²	1	_
		講師 控室	28m²	_	_
		録画・録音スタジオ	116m²	_	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声 録音機器、グランドピアノ(有料)
	5階	編 集 室	21 m²	_	ビデオタイトラー、ビデオエディティングシステム、パソコン、 Hi8・VHS・DV編集機等
		ミーティング室 5	58m²	26人	ホワイトボード
		試 写 室	66m²	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
		校 長 室	40m²	-	_
		応 接 室	40m²	-	_
		事 務 室	75m²	_	(高校事務室、センター総務課)
講義棟	1階	所 長 室	40m²	1	_
四件 我们来	11/18	センター職員室	80m²	-	(センター振興課)
		会 議 室	121m²	63人	_
		小 会 議 室	64m²	32人	_
		印刷・準備室	64m²	-	_

7 <del>.1</del> .1/m	7£Ł □1		五结	ㅡ므	<b>计                                    </b>
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容
		教員室	160m²		_
		コンピュータ室	40m²		_
		印 刷 室	40m²		_
		保 健 室	66m²		-
		進路指導室	54m²	_	_
	2階	生 徒 会 室	43m²	_	<del>-</del>
		総合実践室	163m²		パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80m²	_	_
		教育相談室	40m²	_	_
		放 送 室	40m²	_	_
		自 習 室	80m²	_	_
講義棟		CR(クラスルーム)× 6	64m²	40人	-
	O 17H4	社 会 科 教 室	120m²	40人	ホワイトボード
	3階	コモンホール	80m²	_	自動販売機、洗面台
		ロッカールーム	80m²	_	_
		CR(クラスルーム)× 6	64m²	40人	_
	4階	生物教室	120m²	40人	_
		化 学 教 室	121mi	40人	_
		CR(クラスルーム)× 2	64m²	40人	_
		L L 教室	120m²		
	5階	音 楽 教 室	117m²	40人	
		被服教室	121m²	40人	_
		調理教室	120m²	40人	_
		展示スペース	200m²	_	
	1階	交流ロビー	220m²	80人	プロジェクションテレビ
		視聴覚コーナー	160m²	_	DVD用ブース (8ブース)
交 流 棟		情報閲覧コーナー	144m²	_	_
	2階	学習相談コーナー	80m²	_	
		図書・ブラウジングコーナー	160m²	_	_
		武 道 場	336m²	_	_
		リハーサル室	93m²	_	_
体育館・	1階	楽 屋 1	12m²	_	
ホール		楽 屋 2	25m²	_	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	2階	ア リ ー ナ	896m²	500人	可動椅子500席(有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC
学生食堂	1階	, ,	314m²	220人	烏城高等学校専用
喫 茶 棟	1階		132m²	64人	(グリルぱる)
グラウンド	- 10		7,273m²	-	夜間照明
テニスコート			1,254m²	_	オムニコート2面
, _, , _		立体・平面	1,751m²	_	普通車180台、大型バス4台、身体障害者用1台
駐車場		芝生生	976m²		普通車29台、身体障害者用3台
		科学体験・学習広場	237m²		自歴年23日、34 体障告省用3日   液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
	1階	プロデュースセンター	70m²		ホワイトボード他
人と科学の未来館	176	親子サイエンスルーム	33m²		
サイピア					幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2階	企画展示室	101m²	120 1	液晶プロジェクター、スクリーン他
		サイエンスドーム	176m²	132人	投影機他

#### 5 施設配置図



#### 生涯学習センター・烏城高等学校施設内配置図



# 3 平成30年度事業体系

# 人 材 育 成

◇基礎研修	・初任者研修
◇実践型指導者養成	・みんな集まれ!社会教育宿泊研修
	・社会教育実践専門講座
	・親育ち応援学習リーダースキルアップ講座
	・【新】すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座
	・【新】子どもほっとライン相談員養成講座
	・公民館長・職員研修
	・視聴覚ライブラリー担当者研修
	・若者発!まちプロ
	・若者と「つながる」事業
	・統括・中核コーディネーター養成講座

# 市町村・公民館支援

◇市町村支援	・生涯学習・社会教育よろず相談(市町村コンサルティング)
◇公民館活動の活性化	・公民館連合会研修
	・公民館職員が選ぶ!講座アワード
	・【新】地域の課題解決に向けた「地域のつながりづくり」公民館・学生協働
	プロジェクト

# 調査研究、学習情報の発信

	<b>生活色羽,其人教育与男士子园本开</b> 席
◇調査研究	・生涯学習・社会教育に関する調査研究
◇情報提供	・ぱるネット岡山の管理と運営
	・【新】おかやま子ども応援人材バンク
◇生涯学習大学	・主催講座
	/【新】きっず☆ユニバ、【新】大学生発!SNS!! ∖
	楽しい科学体験を広めよう!
	・連携講座
	・【新】生涯学習の集い
◇学習相談	・相談業務の充実と広報
◇広報	・HP、Facebook等による発信
◇教材の活用と提供	・視聴覚教材、機材
	・県視聴覚ライブラリー連絡協議会

# 「学び・交流の場」としての機能充実

◇発表、展示、体験、交流	・「京山祭」
	・【新】企画Labの運営
	・施設ボランティアの活動支援
◇生涯学習団体等への貸出	・情報創作棟(研修室、会議室)の活用
	・交流棟の活用(展示、発表)

# 科学教育の推進

◇サイピアの運営支援	・プラネタリウムプログラム
	・科学実験教室
	・学校学習利用の促進(広報)
	・企画展示
◇JAXA連携事業	・学校教育支援 (授業支援、教職員研修)
	・社会教育支援(宇宙の学校、宇宙教育リーダーセミナー)

# 4 平成30年度 主な事業計画

# 1 人材育成

事 業 名	主 な 内 容	対象:定員	期間	予 算
生涯学習・社会教育関係職員 研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての 資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくり を支援する。	生涯学習・社会教育推 進担当者で勤務年数が 少ない方 基礎的な知識を学びた い方等	5月~10月	140千円
みんな集まれ!社会教育宿泊 研修	生涯学習・社会教育関係者が自らの事業に生かせるよう、 その重要な要素となるコーディネートやファシリテー ションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての 意識や能力の向上を図る。また、関係者のネットワーク づくりを図る。	市町村行政担当者、公 民館職員、NPO等生 涯学習・社会教育団体 関係者、地域学校協働 活動関係者、首長部局ま ちづくり等)、大学生等	10月	295千円
社会教育実践専門講座	県の社会教育行政の当面する諸課題に対応し、事業や講座の企画・立案、人や情報のコーディネート、各種団体等との連携など、専門的な知識・技術に関する研修及び日常の業務に役立つ実践的な研修を行う。 平成30年度のテーマは「若者の社会参画」(予定)	生涯学習・社会教育担 当職員、公民館職員、 首長部局関係職員、社 会教育施設職員、学校 教育関係者、ボランティ ア・NPO等	10月~ 31年1月	263千円
親育ち応援学習リーダースキ ルアップ講座	「親育ち応援学習リーダー養成講座」の修了生や「親育ち応援学習プログラム」を活用している家庭教育関係者が一堂に会して交流や情報交換を行うことで、ファシリテーターのスキル向上やネットワークの構築、「親プロ」活用にむけての気運を高める。また、今年度作成した追加プログラムを紹介し、活用を促進する。	平成23~29年度「親育 ち応援学習リーダー養 成講座」修了生、市町 村家庭教育担当者、保 健福祉関係者、家庭教 育支援チーム員、「親育 ち応援学習プログラム」 活用に興味のある方等	6月	288千円
【新】すこやか家庭教育相談 員養成講座・子育てサポー タースキルアップ講座	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭 教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを 図るため、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門 的知識の習得を目指す。	すこやか家庭教育相談員、市町村関係職員、社会教育・学校教育関係職員等の家庭教育支援関係者、子育てサポーター・子育て支援団体・グルーブのリーダー等で市町村から推薦を受けた方	9月~10月	318千円
【新】子どもほっとライン相 談員養成講座	新規の学生相談員を養成するため、子どもを取り巻く問題、電話相談の基本的なあり方、カウンセリングに関する知識・技術の習得及び資質の向上を図る。	平成30年度新規学生ボランティア相談員(継続学生ボランティア相 談員も可)	5月	
岡山県公民館連合会研修	公民館研究者等の講演や公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員、市町村教 育委員会公民館担当者	5月~ 31年1月	県公連予 算で対応
視聴覚ライブラリー担当者会 研修	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴 覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー担 当者	7月	県視連予 算で対応
若者発!まちプロ	県内の地域づくりの第一線で活躍している方のところへ インターンへ行き、実践型研修をとおして、自らの思い を社会の中で実現するための自主性・行動力を身につけ ることで、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成 を図る。	県内大学生等	6月~9月	685千円
若者と「つながる」事業	今若者がおかれている現状・課題についての理解を深めるとともに、若者との関わり方や大人の役割について考え、実際に高校生とかかわる活動をとおして、これからも地域社会の中で、若者支援に携わったり、広めたりしていこうとする人材の育成を図る。	大学生や社会人 (20~ 40歳ぐらい) 等	9月~ 31年2月	470千円
統括・中核コーディネーター 養成講座	<ul> <li>○中核コーディネーターに関する活動について、市町村担当者の理解と資質向上を図る。</li> <li>○中学校区内を統括し、市町村教育委員会や学校・園の地域連携担当者との連携・協働のもと、地域の実情に応じて、中学校区内の学校支援、放課後・土曜日等支援、家庭教育支援等のコーディネーター同士の連絡調整を行う。また、コーディネーターへの助言・指導、未実施地域における「地域学校協働活動」の推進等を行い、中核コーディネーターを養成する。</li> </ul>	市町村担当者(必須)と中核コーディネーター(中学校区を統括するコーディネーター)を目指している地域コーディネーター	6月~ 31年2月	223千円

# 2 市町村・公民館支援

事 業 名	主 な 内 容	対象:定員	期間	予 算
生涯学習・社会教育よろず相 談	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、 諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター 社会教育主事等が、市町村教育委員会、公民館等に対す るコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯 学習・社会教育推進体制の整備を図る。	県内市町村、公民館、 学校、各種団体	年間	174千円
岡山県公民館連合会	県下の公民館等と連携し、地域の拠点として豊かな地域 づくりを担う公民館活動の振興発展に寄与する。	公民館職員	随時	県公連予 算で対応
【新】地域の課題解決に向けた「地域のつながりづくり」 公民館・学生協働プロジェクト	地域づくり・人づくりの拠点となる公民館が、学生と協働しながら、地域のつながりづくりを基に、地域の課題解決に取り組む具体的なプロセスを実証することにより、公民館の重要性と可能性について世論喚起するとともに、先進的な事例を県内の公民館に広く示す。	公民館(2館)	5月~ 31年1月	県公連予 算で対応

# 3 調査研究、学習情報の発信

事業名	主 な 内 容	対象:定員	期間	予 算
調査研究	生涯学習・社会教育に関する調査・研究を実施する。	県民一般	年間	441千円
生涯学習情報提供システムの 管理と運営	「ぱるネット岡山」システムを活用し、学習情報提供の 充実を図る。		年間	運営費で 対応
生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・イベント 情報」「講師・ボランティア情報」等の更新と情報量の 充実を図る。		常時	運営費で 対応
【新】おかやま子ども応援人 材バンク	企業・団体等の方々が有している専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進する。	県民一般	年間	運営費で 対応
生涯学習大学	現代的な課題や人材育成等に関する主催講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。 (主催講座) 生涯学習センターが主催する講座(3講座) [新] きっず☆ユニバ [新] 大学生発!SNS!! 楽しい科学体験を広めよう! (連携講座) 他の行政機関及び民間が主催し、連携している講座	県民一般 定員100名 定員 30名 定員 30名 定員 講座ごとに設定	年間	5,383千円
生涯学習の集い	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習 成果発表の場を提供するとともに、生涯学習フォーラム を開催し、本県における生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生県民一般	31年2月	
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	運営費で 対応
情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時	運営費で 対応
視聴覚コーナーの整備・運営	専用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーショ ン等を提供する。	県民-般	常時	運営費で 対応
視聴覚教材・機材の整備・貸 出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支 援する。	県内の団体	常時	649千円
視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、一般への 視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時	運営費で 対応
岡山県視聴覚ライブラリー連 絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育 の推進を図る。	視聴覚ライブラリー関 係職員	随時	県視連予 算で対応
センターだより(情報誌)等 の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要 覧 年1回 情報誌 年1回 リーフレット 随時	運営費で対応

# 4 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	主 な 内 容	対象:定員	期間	予 算
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びの コーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を 提供する。	県民一般	6月、 31年2月	互助助成 事業予算 で対応
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随時	運営費で 対応
施設ボランティアの活動の促 進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般、大学生等	年間	運営費で 対応
【新】企画Labの運営	社会貢献への想いをもった方、講座修了生等に実践の場を提供するとともに、県民に対しての出会い・交流の場を提供する。 ・子どもひみつ基地 ・交流棟での活動 等			
イベントの運営・補助	各種イベント等の運営補助、出展ブースの企画・運営等 の活動の場を提供する。 ・宇宙の学校 ・サイピアサイエンスショー ・京山祭 ・生涯学習の集い 等			
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学 習を支援する。	関係機関 県民一般	常時	運営費で 対応

# 5 科学教育の推進

事業名	主 な 内 容	対象:定員	期間	予 算
人と科学の未来館サイピアの 運営支援 (指定管理者実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント(コンサート、記念講演) 企画展示 科学実験教室等	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年間 年間 休日、夏休 み等	46,276千円
	学校学習の受入れ 子ども科学クラブ	小中学校等	随時(平日)	
	(子ども天文教室) (わくわく仮説実験教室) 友の会	会員会員	年間8回 年間9回 交流 年1回 会報誌 毎月発行	
	科学フェスティバル サイエンス・インストラクター	県民一般 県民一般	夏期 養成講座 年7回	
	パンフレット、チラシ、広報紙	県民一般	随時	
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町 村教育委員会等と連携を図り、学校教育及び社会教育支 援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動:県内2小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動:総合教育センター研修において 計画 ○社会教育支援活動:コズミックカレッジ :宇宙の学校 :宇宙の学校 :宇宙の学校右導者セミナー :宇宙教育リーダーセミナー	県内2小学校 県内教職員 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年4回回年4日回回回日 年4日回回回回時	1,344千円
連携・協働型事業	県教育委員会や大学・企業、NPOを含めた各種団体と の連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等 を図る。	県民一般	随時	運営費で 対応
専門委員会の開催	サイピアの運営について、広く学識経験者、教育関係者 等から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年1回	運営費で 対応

# 5 平成29年度事業実績

# 1 人材育成

事 業 名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育 関係職員研修講座 初任者研修	平成29年4月14日	生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。また、職員間のネットワークづくりを支援した。 ◆第1回 ※岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育」講師 ノートルダム清心女子大学大学院 教授 西井 麻美 【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」説明者 岡山県教育庁生涯学習課 総括主幹 東川 絵葉 【演習】「地域のミリョク」講師 岡山市立藤田公民館 主任(社会教育主事) 猪原 一道 岡山市立旭公民館 主任(社会教育主事) 藤山 宙子	69名
	平成29年5月12日 (県南会場) 平成29年5月19日 (県北会場)	◆第2回 ※岡山市新任公民館職員研修、津山市公民館長研修と兼ねる。 【講義・演習】「學びをデザインしよう!~講師やコーディネーターに必要なこと~」 講師 岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授 中山 芳一	(県南)48名 (県北)16名
みんな集まれ!社会教育宿泊研修	平成29年9月12日 ~ 9月13日	<ul> <li>◆1日目</li> <li>【講義・演習】「今、生涯学習関係者に必要なこと」講師 岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授 中山 芳一【昼食・体験活動】 災害時にも作れる!ポリ袋炊飯講師 日本ボーイスカウト岡山連盟 理事 小野 幹治【実践事例を聞く・情報交換】①学校支援 講師 美咲町立旭小学校 地域コーディネーター 飯田 純子②放課後・土曜日等支援 講師 津山市北小ひなづる児童クラブ 指導員 角野 いずみ③家庭教育支援 講師 社会福祉法人光彩会 和光園保育所(広島県府中市)所長 岡本 由姫美【講話】「社会教育・生涯学習関係者が元気になるために ~ゆるやかなネットワーク作りと資質向上~」講師 大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦◆2日目 【実践事例を聞く・情報交換】</li> <li>④中高生の出番づくり 講師 島根県松江市鹿島公民館 主任 池田 俊貴⑤就学前の子ども(親子)を対象にした講座づくり 講師 岡山市立西大寺公民館 主任(社会教育主事) 吉田 郁美【昼食・体験活動】「カートンドッグ」(土曜日支援などで使える昼食づくり)講師 ガールスカウト岡山県連盟 リーダー 小林 孝 他【実践事例を聞く・情報交換】⑥公民館との連携 講師 岡山市教育委員会指導課人権教育室 副主査 重森 しおり【ワークショップ】講師 県生涯学習センター振興課員</li> </ul>	36名
社会教育実践専門講座	平成29年9月1日	平成29年度のテーマは「家庭教育支援」 ◆第1回 【実践発表】「子育て支援拠点の取組」 発表者 NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん 代表理事 赤迫 康代 【演習】「家庭教育支援と子育て支援」	22名
	平成29年10月4日	◆第2回 【実践発表】「公民館の取組」 発表者 安芸郡府中町府中公民館 嘱託職員 川上 多佳子 出雲市荒木コミュニティーセンター チーフマネージャー 原 敦代 出雲市大社コミュニティーセンター マネージャー 玉木 明日香 【演習】「連携先あれこれ」	18名
	平成29年11月10日	◆第3回 【視察見学】「子育てサロン」 講師 NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん 代表理事 赤迫 康代 【演習】「場の工夫あれこれ」	20名
	平成29年12月21日	◆第4回 【演習】「活動計画を立てる」 講師 県生涯学習センター振興課員	11名

事業	<b>美名</b>	実施期間	内 容 等	参加者数
親育ち応扱ダースキルス		平成29年6月22日	県内市町村の社会教育施設職員等を対象に情報発信力を高めることを目的として研修会を実施し、公民館が行う人づくりや地域づくりを支援する。 ◆第1回 【講義】「府中町『地域全体で子育て・親育ち応援!!』 〜地元を愛し、お互いに元気になろう〜」 講師 府中町教育委員会社会教育課 主任兼社会教育主事 幅野 得恵 【グループ演習】「チームで取り組もう!親プロ」	44名
		平成29年8月10日	講師 府中町家庭教育支援チーム「くすのき」 コーディネーター 米田 珠美 ◆第2回 【演習】「みんなで考えよう! 『ショート親プロ』」 講師 NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん 代表理事 赤迫 康代 【発表】各グループの「ショート親プロ」の発表	45名
		平成29年10月12日	講師 NPO法人ほっとはあと 理事 隅田 浩美 ◆第3回 【体験①】「体験しよう!『ショート親プロ』」 講師 親育ち応援学習リーダー養成講座修了生等 百本 恵子、床 真一郎、山本 恵子 【体験②】「体験しよう!『追加親プロ』」 講師 追加親プロ開発委員 佐藤 和美、瀬島 ミチル、佐野 俊貴	43名
岡山県公民 研修	民館連合会	平成29年5月25日	◆第1回 【講演】「これまでの公民館とこれからの公民館」 講師 東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤	87名
		平成29年6月8日 (県北会場) 平成29年6月13日 (県南会場)	◆第2回(社会教育施設職員等研修と兼ねる) 【演習】「行列ができる講座と思わず手に取るチラシの作り方」	(県北)28名 (県南)48名
			【講義・演習】「考えよう!地域に必要とされる公民館」 講師(備中・美作)益田市教育委員会 ひとづくり推進監 大畑 伸幸 益田市豊川公民館 館長 田原 輝美 (備前) 島根県社会教育課社会教育グループ グルーブリーダー 横田 康 大田市立中央公民館 館長 岩根 了達	(備中)65名 (備前)34名 (美作)17名
		平成29年9月12日 ~ 9月13日	(みんな集まれ!社会教育宿泊研修と兼ねる) ※詳細は宿泊研修 (P.10) を参照	36名
		平成29年12月7日	◆第5回  【講義・演習】「ファシリテーション講座〜多様な主体と話し合う〜」   講師 NPO法人岡山NPOセンター 石原 達也   ◆第6回	12名
		平成30年1月26日	◆第6回 【報告会】平成29年度公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム事業 報告者 美作市大原公民館 (星空ミュージックカフェ) 倉敷市水島公民館 (水島まち歩き探検隊) 岡山市立藤田公民館 (藤田再発見☆プロジェクト) 【プレゼンテーション大会】平成30年度地域の課題解決に向けた「地域のつながりづ くり」公民館・学生協働プロジェクト 提案者 笠岡市新山公民館	59名
			岡山市立光南台公民館 【表彰式】「第1回公民館が選ぶ! 講座アワード表彰式」	
視聴覚ライ 担当者研修		平成29年7月27日	講義 「郷土のよさを映像にしよう〜DVD作りの意義と手順〜」 講師 movie京山 仲達 たえ子 向井 松生 ・意義:映像を取り巻く環境の推移 映像を残すことの意味 故郷ムービーを作る目的 ・手順:作品の作り方のステップ ・活用:作品を公開する方法 ・実践:ワークシートによる企画演習	8名
地域づくり人材養成セミナー	き! まちプ	平成29年6月24日 ~9月9日 (年4回)	地域活動に興味・関心をもつ県内大学生等を対象に、岡山県内の地域づくりの第一線で活躍している方のところへインターンに行き、PDCAサイクルを体験する実践型研修をとおして、自らの思いを社会の中で実現させる行動力や自主性を身につけ、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図った。 ◆第1回【現地視察研修】 ・矢掛町→西粟倉村→美作市川東→美作市田殿→美作市上山(マイクロバスで巡回)【地域活動の流れを知る】 ・課題発見、目標設定、自己評価等の活動の流れを学ぶ。(車中) ◆第2回【実践先について知る】 ・自分のインターン先の活動内容や課題を調べ、共有する。 ◆第3回【実践トライアル】 ・現地研修中に地域課題や活動の中で自分ができることを見つけ実践的に取り組む。 くインターン先ン・矢掛地域おこし協力隊(矢掛町) ・あわくら温泉元湯(西粟倉村) ・ Z I O N (ザイオン) ゲストハウス(美作市川東) ・ N P O 法人 共和工ンタープライズ(美作市田殿) ・ N P O 法人 共田田団 (美作市上山)	10名

	事 業 名	実施期間	内容等	参加者数
			◆第4回【振り返り・発表】 ・現地での学びを発表し合い、振り返ることで共有する。 講師 岡山県地域おこし協力隊ネットワーク会議OEN(代表 藤井 裕也) 及びインターン先の岡山県地域おこし協力隊	
域づくり人材養成セミナー	若者と「つなが る」事業	平成29年8月25日 ~ 平成30年1月17日 (年7回)	大学生や社会人 (20~40歳ぐらい) を対象に、今若者がおかれている現状・課題についての理解を深めるとともに、若者との関わり方や大人の役割について考え、実際に高校生と関わる活動をとおして、これからも地域社会の中で、若者支援に携わったり、広めたりしていこうとする人材の育成を図った。 ◆第1回【コンポーザー説明会】・若者たちが置かれている現状や課題・事業の内容やコンポーザーについての説明◆第2回【授業に向けての講座①】・事前打合せ・関わり方研修◆第3回【授業に向けての講座②】・プレゼン練習会◆第4回【実践(クレシェンド)①】・コンポーザーとして授業参加◆第5回【実践(クレシェンド)②】・コンポーザーとして授業参加◆第6回【実践(クレシェンド)③】・コンポーザーとして授業参加◆第6回【実践(クレシェンド)③】・コンポーザーとして授業参加◆第7回【まとめ・振り返り】・活動のまとめと今後の活動についての企画講師 NPO法人 D×P	18名
	括・中核コーディ ーター養成講座		中学校区内を統括し、市町村教育委員会や学校・園の地域連携担当者との連携・協働のもと、地域の実情に応じて、中学校区内の学校支援、放課後・土曜日等支援、家庭教育支援等のコーディネーター同士の連絡調整を行ったり、コーディネーターへの助言・指導、未実施地域における「地域学校協働活動」の推進等を行ったりする中核コーディネーターを養成した。 統括・中核コーディネーターに関する役割と活動について、市町村担当者及びおかや	
		平成29年5月30日	ま子ども応援事業関係者等の理解と資質向上を図った。 ◆第1回 【講義】「統括・中核コーディネーターの基礎・応用」 講師 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 愼之輔 【演習①】「親状分析(伐市町村・中学校区の現在の強い領域・弱い領域)」	37名
		平成29年8月31日	【演習②】「めざす子ども像の共有を図るための計画づくり」 ◆第2回 【演習①】「情報交換(各市町村より実践持ちより)」 【講義①】「中学校区内のコーディネート機能と多様な活動についての全国の好事例」 講師 島根県教育庁社会教育課 社会教育主事 糸賀 真哉 【講義②】「浜田市の中学校区におけるコーディネート機能と多様な活動の実際」 講師 島根県浜田市教育委員会生涯学習課 派遣社会教育主事 星野 明洋 はまだっ子共育プロジェクト推進本部 統括コーディネーター 栗栖 真理 【演習②】「今年度の計画づくりの修正」	30名
		平成29年11月13日	◆第3回 ※平成29年度新任地域連携担当者研修講座と兼ねる。 【説明】「岡山県の地域連携の現状と課題」 説明者 岡山県教育庁生涯学習課 社会教育主事 楢本 真哉 【情報交換】「学校と地域の効果的な連携・協働を図るために」 【講義】「学校と地域の効果的な連携・協働を進めるために」 講師 文部科学省国立政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官 志々田 まなみ	27名
		平成30年2月28日	●第4回 【実践発表】「市町村での取組」 【講義】「今年度の実践と課題」 講師 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 愼之輔 【演習】「今年度の取組のまとめ・来年度に向けて」	27名

# 2 調査研究と市町村・公民館支援

事 業 名	実施期間	内容等
就学前の家庭教育支援に関する調査研究	年間	就学前の家庭教育支援の取組好事例として、岡山市立御南西公民館、岡山市立上道公民館、ライフパーク倉敷市民学習センター、NPO法人岡山県自閉症児を育てる会(赤磐市)を訪問し、取材やヒアリングを行った。親の学びを支援するために、学びの広がりと深まりによる質の向上に焦点を当てた「就学前の家庭教育支援実践事例集」を作成し、各市町村教育委員会、公民館、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等に配付した。
生涯学習・社会教育よろず相談	年 間	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図った。 ◆5市町村 ◆主な内容「地域学校協働活動の推進」 「めざす子ども像の共有の場のつくり方」 「社会教育委員に関する活動」

# 3 学習情報の積極的な発信

事 業 名	実施期間	内容等
ぱるネット岡山の 運営と更新	年 間	「ぱるネット岡山」を新システムに更新した。利用者にとって「分かりやすく学習情報が得られる」「快適で安全・安心に利用できる」等を主な視点とし、学習情報提供システムを大きく見直すとともに、運営者もCMSでホームページを作成できるようにした。
学習相談	年 間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。
生涯学習情報の 収集・整理	年間	ぱるネット岡山で提供する「講座・イベント情報」「団体・グループ情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」等の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
視聴覚コーナーの 整備・運営	年 間	郷土に関する映像やアニメーション映画等を提供した。
情報・図書資料の 収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
催し物案内(情報誌) 等の発行	年 間	要覧(1,200部)、情報誌「生涯学習センターだより」(10,000部(6月、3月))、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚教材・機材の 整備、貸出	年 間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 49作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
視聴覚教育の普及 事業	年 間	16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
視聴覚教材広報活動	年 間	視聴覚教材目録を7,000部作成し、社会教育団体・学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」等で教材の紹介を行った。
16 ミリフィルム デジタル化事業	年 間	昭和41年に岡山県が企画した貴重なフィルム映像「瀬戸大橋」を新たにデジタルアーカイブし、 DVDとして保存し、県内視聴覚ライブラリー等に配付した。

事 業 名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習大学	年 間	現代的な課題や人材育成等に関する主催講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。 <主催講座>	15名 11名 16名
受講生の集い・記念講演会	平成30年2月18日	岡山県生涯学習大学受講生を対象にした証書授与を行うとともに、記念講演会を開催することで、より多くの方に生涯学習や生涯学習大学開設事業の趣旨をアピールし、本県における生涯学習の普及・啓発を目的に、生涯学習「受講生の集い」を開催した。 ◆記念講演会 演題「仕事人との出会いで学ぶこと」 講師 前野 朋哉(俳優、映画監督、おかやま晴れの国大使)	290名

# 4 「学び・交流の場」としての機能充実

事 業 名	実施期間	内容等	参加者数
京山キッズ・ゾーン 「京山祭」	平成29年6月4日 平成29年12月10日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月4日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	2,700名 2,000名
社会教育関係団体交 流の拠点	年 間	社会教育関係団体の事業の充実や活動の活性化を図るため、交流室を設置し、団体間の交流を促進した。	
ボランティアの活動 支援	年間	交流棟 1 階の交流ロビーを、自発的・自主的な活動を実践する場として提供した。施設ボランティアである「ぱるボランティア」は、今までのボランティア活動の実績を活かし、県民を対象にした「ものづくり教室」を年間3回企画・運営した。	75名
発表・展示・交流	年 間	展示スペースを45団体に提供した。	
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸し出しをした。	

# 5 科学教育の推進

### (ア) JAXAとの連携事業

	事 業 名	実施期間	内容等	参加者数
	授業支援	平成29年6月21日	<指定校>岡山市立千種小学校 ◆第1回 【内容】JAXAで働いている人の仕事の内容、役割や責任を果たすことで得られている喜びややりがいについて理解する。	23名
		平成29年11月22日	講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 松原 理 ◆第2回 【内容】JAXAの用意した月の映像を見たり、人工衛星「かぐや」についての話を聞いたりすることで、宇宙と日本の科学技術の関わりについて興味・関心を持つ。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 松原 理	23名
学 校		平成29年6月29日	<指定校>浅口郡里庄町立里庄東小学校 ◆第1回 【内容】国際宇宙ステーション(ISS)での水の循環システムについて紹介すること により、水資源を含む資源の大切さを学び、自然が創り出す資源の有効な活	51名
教育支		平成29年9月15日	用について理解する。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 松原 理 ◆第2回 【内容】作成した月球儀やJAXAの用意した月の映像をもとに、月の表面の様子を 観察したり、太陽と月の違いについて考えたりする。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 松原 理	41名
援	教員研修支援	平成29年6月30日 (総合教育センター)	【内容】 ・講演「生活の中で役立っている宇宙開発技術」 講師 JAXA新事業促進部関西サテライトオフィス 客員 中本 善博 ・施設見学 人と科学の未来館サイピア ・サイエンスショーの見学 サイエンスショー担当 内田 正夫 ・プラネタリウム鑑賞 プラネタリウム担当 学芸員 合田 美佳 ・講義・演習 宇宙教育推進室の活動紹介 ・宇宙食を活用した授業案 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 松原 理 ・全体協議 授業実践に向けての協議	11名
	コ ズミックカ レッジ	平成30年 1 月28日	<ul><li>【内容】「ペンシルロケットを作ろう」</li><li>・ロケットの話</li><li>・ペンシルロケットの製作</li><li>・ペンシルロケットを飛ばす体験</li><li>講師 立命館大学理工学部 講師 船田 智史</li></ul>	101名 (42家族)
社会教育支援	宇宙の学校	平成29年7月2日 平成29年8月27日 平成29年12月3日 平成30年2月4日	第1回 【内容】・開校式 ・熱気球 ・葉脈標本 講師 KU-MA会長 並木 道義 第2回 【内容】・万華鏡を作ろう ・紋切り遊び(うちわ作り)をしよう 講師 KU-MA副会長 稲葉 茂 第3回 【内容】・月についての話 ・ホバークラフトを作ろう 講師 KU-MA講師 下田 治信 第4回 【内容】・フィルムケースロケットを作ろう ・レポート発表会 ・閉校式 講師 KU-MA会長 並木 道義 宇宙航空研究開発機構 学芸員 清水 幸夫	139名 123名 109名 81名
		平成29年6月11日	指導者セミナー【内容】・「宇宙の学校」の概要 ・宇宙教育教材を使った説明と演習 講師 KU-MA副会長 稲葉 茂	26名

#### (イ) その他の事業

事業	名	実施期間		内	容	等	参加者数
パブリックビ <i>=</i> ング	ューイ	平成29年12月17日	◆金井宇宙飛行士搭乗	ソユーズ宇宙船	打ち上げ(ライ	· ブ中継)	120名

# 6 施設設備の利用状況

(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

#### (ア)情報創作棟利用(施設貸出)

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3 月	計
視聴覚室	16	22	12	19	20	13	21	14	13	14	17	8	189
大研修室	24	27	26	22	27	24	26	24	23	20	22	17	282
洋研修室	13	19	20	15	23	14	14	13	14	10	17	12	184
和研修室	6	10	10	8	13	8	11	6	9	11	7	7	106
ミーティング室1	23	25	28	28	36	25	29	20	20	19	24	22	299
ミーティング室 2	31	33	31	29	36	34	35	30	25	25	28	25	362
ミーティング室3	21	28	30	24	25	32	32	27	26	23	27	27	322
ミーティング室 4	28	31	30	31	33	30	25	30	26	24	25	23	336
ミーティング室5	30	33	35	28	26	28	29	19	23	25	25	25	326
美術教室	6	10	11	16	11	13	12	10	9	11	8	4	121
木工教室	6	8	9	9	7	8	9	7	5	6	4	3	81
陶芸教室	9	12	14	14	10	12	13	9	11	10	12	7	133
書道教室	15	17	19	19	15	17	20	15	14	15	17	15	198
パソコン教室 1	1	2	3	4	5	3	3	1	3	6	3	0	34
パソコン教室 2	4	1	9	4	4	3	2	2	5	4	4	4	46
ボランティア室	30	26	24	28	26	27	26	21	20	18	20	24	290
録画録音スタジオ	3	1	7	3	5	2	5	4	3	2	3	3	41
試写室	7	12	11	12	12	8	15	11	9	12	8	9	126
編集室	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

#### (イ) 交流棟利用 (施設貸出)

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	7	20	13	26	26	11	23	19	17	22	26	23	233

#### (ウ) 人と科学の未来館サイピア利用 (施設貸出)

(件)

施設設備名	4月	5月	6 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
科学体験・学習広場	5	7	14	12	0	18	48	18	7	2	3	5	139
企画展示室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
プロデュースセンター	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

#### (エ)人と科学の未来館サイピア利用 (施設入館等)

(人)

施設設備名	4月	5月	6 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3 月	計
サイピア入館者数	15,221	13,726	9,125	11,098	14,265	8,629	10,183	7,740	6,580	5,814	7,251	11,494	121,126
サイエンスドーム観覧者数	5,844	3,586	2,590	3,729	5,677	3,235	4,882	2,376	1,655	1,684	1,992	4,555	41,805

### 7 生涯学習情報提供システム(ぱるネット岡山)

#### (ア) データ保有数

(平成30年3月31日現在)

種類	件数	種 類	件数	種 類	件数	種 類	件数
講座・イベント	581	団体・グループ	46	講師・ボランティア	139	学習プログラム	74
視聴覚教材	5,859	おかやま子ども応援人材バンク	113	合	計		6,812

(※新ぱるネット岡山 平成30年2月1日から稼働)

### 8 学習相談件数

(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

種類	件数	種 類	件数	種 類	件数	合 計
講座・講師	44	施設・設備	304	図書	105	017
視聴覚視聴	135	視聴覚教材	68	その他	161	817

### 9 視聴覚コーナー

#### (ア)ソフト保有本数(DVD)

(平成30年3月31日現在)

種 類	件数	種 類	件数	種 類	件数	合 計
郷土	47	アニメ	215	洋画	115	074
邦画	123	教養	88	その他	386	9/4

#### (イ) 利用状況

(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

種別	DVD教材	C D	合 計
回 数	1,927	0	1,927

# 10 視聴覚教材コーナー

#### (ア) 保有本数

(平成30年3月31日現在)

DVD教材	ビデオ教材	16ミリ映画	合 計
913	3,229	1,692	5,834

#### (イ) 貸出状況

(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

施	設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利	DVD教材	23	67	87	111	72	21	58	40	46	58	28	38	649
用本数(本)	ビデオ教材	6	5	12	7	37	4	10	12	9	12	7	0	121
数(	16ミリ映画	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
杢	計	29	72	99	118	109	25	68	55	55	70	35	38	773
閲	DVD教材	5,220	6,085	11,311	8,836	3,646	2,581	5,429	6,695	4,717	5,201	7,409	5,593	72,723
閲覧者数(	ビデオ教材	402	380	459	245	1,267	256	931	1,572	1,679	947	2,535	0	10,673
数	16ミリ映画	0	0	0	0	0	0	0	795	0	0	0	0	795
스	計	5,622	6,465	11,770	9,081	4,913	2,837	6,360	9,062	6,396	6,148	9,944	5,593	84,191

### 11 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(平成30年3月31日現在)

区分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	23,882	生涯学習関連資料	8,427	購入雑誌	18タイトル	購入新聞	6紙
(うち烏城高等学校図書)	9,838						

# 6 関係条例及び規則

#### 岡山県生涯学習センター条例

平成8年12月24日 岡山県条例第39号

#### (目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動(次条において「生涯学習」という。)の振興を図るため、岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)を岡山市に設置する。

#### (業 務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備(以下「施設等」という。)の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

#### (開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

#### (指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。) が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

#### (指定管理者が行う業務)

- 第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

#### (利用等の許可)

- 第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。 許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
  - (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
  - (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

#### (入所の制限等)

- 第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。
  - (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
  - (2) 施設等を損傷するおそれがある者
  - (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
  - (4) その他センターの管理上支障があると認める者

#### (許可の取消し等)

- 第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、 原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。
  - (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
  - (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
  - (3) 第6条第2項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者(次条において「利用者」という。)に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

#### (利用料金)

- 第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金(以下この条において「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。
- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

#### (職 員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

#### (指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募 するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

#### (指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会 に申請しなければならない。

#### (指定管理者の指定)

- 第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。
  - (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
  - (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
  - (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
  - (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。
- 2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

#### (事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

#### (業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地につ いて調査し、又は必要な指示をすることができる。

#### (指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、 その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

#### (教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。 附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表 (第6条、第9条関係)

- 1 施設(情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設)
- 2 冷暖房設備(情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備)
- 3 設備金額(液晶プロジェクター等)
- 4 観覧料 (人と科学の未来館サイピア観覧料)

-18 -

#### 岡山県生涯学習センター条例施行規則

平成8年12月24日 岡山県教育委員会規則第19号

#### (趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。 (開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター (以下「センター」という。) の開所時間は、次のとおりとする。

	区分	開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

#### (休 所 日)

- 第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。
- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く。)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

#### (天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。) が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

#### (利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設又は設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の 許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

#### (利用者等の遵守事項)

- 第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。
  - (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
  - (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
  - (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
  - (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
  - (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

#### (損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。 (利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

#### (視聴覚教材等の貸し出し)

- 第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。
- 2 前項の貸出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

#### (そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

#### 施設等利用料金表

#### <情報創作棟施設・設備利用>

(単位:円)

	16-5	<u>&gt;</u>		/二二分			9:00~	13:00 ~	18:00 ~	9:00~	13:00 ~	9:00~	冷房	暖房
	施設			(定員・直	面積・階)		12:00	17:00	21:00	17:00	21:00	21:00	(1時間当)	(1時間当)
視	聴	覚	室	72人	261m²	1F	5,400	7,200	5,400	14,300	14,300	21,500	630	530
大	研	修	室	150人	261m²	2 F	5,000	6,700	5,000	13,400	13,400	20,100	630	530
洋	研	修	室	12人	33 m²	3 F	800	1,100	800	2,200	2,200	3,300	80	60
和	研	修	室	8畳	33 m²	3 F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	80	60
≅-	ティ	ング	室①	18人	28m²	2 F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50
≅-	-ティ	ング	室②	12人	22 m²	2 F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40
≅-	-ティ	ング	室③	18人	28m²	2 F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50
≅-	-ティ	ング	室④	18人	40m²	4 F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80
≅-	-ティ	ング	室⑤	26人	58 m²	5 F	1,000	1,400	1,000	2,800	2,800	4,200	130	110
美	術	教	室	35人	80 m²	3 F	2,800	3,700	2,800	7,500	7,500	11,200	390	310
木	I	教	室	8人	39 m²	3 F	900	1,200	900	2,500	2,500	3,700	90	70
陶	芸	教	室	24人	39 m²	3 F	800	1,000	800	2,100	2,100	3,100	90	70
書	道	教	室	32人	66 m²	3 F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,700	150	130
パ	ノコ	ン教	室①	40人	116m²	4 F	7,100	9,500	7,100	18,900	18,900	28,400	270	220
パ	ノコ	ン教	室②	20人	66 m²	4 F	3,000	4,000	3,000	8,000	8,000	11,900	150	130
ボラ	ラン:	ティ	ア室	18人	40m²	4 F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80
録画	・録	语 📑	録画	_	116㎡	5 F	4,500	6,000	4,500	11,800	11,800	17,900	270	220
	タジ	オ	録音		110111	31	2,500	3,300	2,500	6,600	6,600	9,900	270	220
試		写	室	18人	66 m²	5 F	1,400	1,800	1,400	3,600	3,600	5,500	150	130
編	1	集	室	_	21m²	5 F	600	700	600	1,500	1,500	2,300	50	40
	ţ	汝	送	設	備		一式1時間	間につき 3						
	j	資 料	1 提	示装	置		一式1時間	間につき 1	40円(大研	修室)				
	7	夜晶	プロ	ジェク	ター		一式1時間	間につき 2	30円(大研	修室)				
	3	茶		道	具		一式1時間	引につき 6	90円(和研	修室)				
		ピ		ア	/		一式1時間	引につき 9	90円(録画	・録音スタ	ジオ)			
	Į.	陶		芸	窯		一台1時間							

### <人と科学の未来館サイピア施設利用>

区 施設・設備等	分 (定員・配	) 面積・階)		9:00 ~ 12:00	13:00 ~ 17:00	18:00 ~ 21:00	9:00 ~ 17:00	13:00 ~ 21:00	9:00 ~ 21:00	冷 房 (1時間当)	暖 房 (1時間当)
サイエンス 投影装置を使用する 場合	132席	176m²	2 F	49,600	66,100	49,600	132,200	132,200	198,400	1,170	1,100
ド - ム 投影装置を使用 しない場合	132/市		2 F	8,600	11,500	8,600	23,000	23,000	34,500	1,170	1,100
科学体験·学習広場	_	237m²	1 F	5,600	7,500	5,600	15,000	15,000	22,500	410	310
企画展示室	_	101m²	2 F	2,100	2,700	2,100	5,500	5,500	8,200	170	130
プロデュースセンター	_	70㎡	1F	1,700	2,200	1,700	4,500	4,500	6,700	120	100

※12:00~13:00及び17:00~18:00の使用料の額は13:00~17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間:6月1日~9月30日、暖房期間:12月1日~3月31日

特例期間:上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

#### <人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

区 分	観 覧 料	割引料金
一 般(65歳未満)	520	470
一 般(65歳以上)	310	260
高 校 生	300	240
小 学 生・中 学 生	100	80
小 学 生 未 満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっこカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。